



新見南中学校 学校だより キラメキ

教育目標 希望ある未来を切り拓く生徒の育成

令和6年6月10日(月) 第7号 文責 千原 隆

南中ノートの取り組み

今年度から、生活ノートを一新して学校独自の「南中ノート」を活用しています。今まで通りのような明日の授業連絡を書くのではなく「家庭学習」で取り組む学習内容を「To-Do リスト」に書き込んでいきます。

- ①書き込んだ内容に対しての予定時間を記入します。
- ②実際にかかった時間を記入して合計時間を記入します。
- ③達成度を○△×で自己評価を行います。

先行学習の取り組み(分かる授業を目指して)

先行学習とは簡単に言うと「**分かる授業**」をするということです。つまり、既習事項(答えを与える予習から習得)と未習事項(授業での活用へと進む流れ)の結びつきが確かになり分かった実感できる授業を目指します。予習から習得して活用へと進む指導法です。だからこそ、「**家庭学習**」で習得し「**授業**」で活用するわけです。では、予習の宿題とは何かというと「家庭でノートに次の時間にやる内容の結論を書いてくる」ことです。

新学習指導要領では、「主体的で対話的で深い学び」を通して「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」という資質・能力を育てていかなければなりません。深い学びは、主体的対話的な活動を通して可能となりますが、先行学習ではそれらの活動を保証する指導法になります。ただ、毎時間「先行学習」を取り入れてできる内容があれば、やりにくい内容もあります。今年度は、予習する習慣を身に付けてほしいと考え先生方にも予習を宿題にするようお願いをしています。

参観日(学年支会、PTA・常任理事会・専門部・三役会)お世話になりました

